

(一財)日本消防設備安全センター認定品

# 防火水槽・耐震性貯水槽



鶴見コンクリート株式会社

# 地震に強い！ いざという時に機能を発揮するのは！ 信頼と実績の安心品質。

ツルミコンクリートの確かな技術力を集めた「防火水槽・耐震性貯水槽」は  
(財)日本消防設備安全センターの二次製品防火水槽認定基準の適合品。

品質・耐久性・耐震性・施工性にプレキャスト製品ならではの優れた特徴をもっています。

## さらに、

弊社は日本で最初にプレキャストボックスカルバートを世に送り出してから半世紀。  
創業100年近くの歴史を誇るメーカーです。

## 品質は歴史が証明しています。



### 頑強な構造

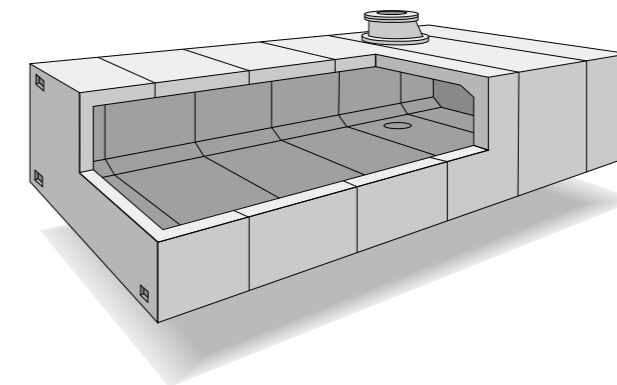
各ブロックは、PC鋼材により剛結された  
一体構造物なので、より安定した構造に  
なっています。

### 地震に強い

ボックスラーメン構造であるため、土圧、  
地震力などに対し十分に安全な強度を  
有しています。

### 均一な品質

品質管理の行きとどいた認定工場製品  
なので、均一で高品質な製品が得られます。



### 工期を短縮

現場では、工場で製作されたブロックを  
据付け、接合するだけの施工なので、工  
期を大幅に短縮することができます。

### 防水

防火水槽の内面は、ウレタン防水を施してい  
るため、充分な防水効果が得られます。

### 貯水量が自由

中間ブロックの数を増減することで、  
20m<sup>3</sup>~100m<sup>3</sup>まで貯水量を自由に変え  
ることができます。(認定品外含む)

## ● 認定品一覧表 (製品の詳細については3ページ以降をご参照ください)

### 防火水槽

防火水槽 40m <sup>3</sup>		サイズ 2500(内幅)×2400(内高)			
		土かぶり (m)	認定番号	土かぶり (m)	認定番号
型式記号		TC2524-40-○○※		TC2524-40-○○※	
I型	q=10kN/m <sup>2</sup>	0.0~1.9	防-97234号	0.0~1.0	防-97234-1号
II型	T-14	0.2~1.9	防-97235号	0.2~1.2	防-97235-1号
	T-20	0.2~1.9		0.2~1.2	
III型	T-25	0.2~1.9		0.2~1.2	

※型式記号の「○○」は4ページの表をご覧ください。  
※認定取得時では、上載荷重1.0tf/m<sup>2</sup>として取得。

#### 防火水槽の認定条件

##### ①水槽深さ

水槽底の深さは底設ピットを除き地表面から4.5m以内である。

##### ②設置場所による区分

- I型：公園、宅地等自動車が入るおそれのない場所の地下に設けるもの
- II型：上記以外の場所に設けるもので総重量200kNの自動車荷重が載荷されるものとする。  
ただし、道路の事情により140kNとすることができる。
- III型：同上の総重量250kNの自動車荷重が載荷されるものとする。

### 耐震性貯水槽

耐震性貯水槽 40, 60, 70, 80, 90, 100m <sup>3</sup>		サイズ 2500(内幅)×2400(内高)	土かぶり (m)
型式記号		TC2524-○-○○※	
I型	q=10kN/m <sup>2</sup>	○	0.0~2.0
II型	T-20	○	0.2~2.6
III型	T-25	○	0.2~2.3

※型式記号の「○○」は4ページの表をご覧ください。  
※認定取得時では、上載荷重1.0tf/m<sup>2</sup>として取得。

#### 耐震性貯水槽の認定条件

##### ①水槽深さ

水槽底の深さは集水ピットを除き地表面から7.0m以内である。

##### ②設置場所による区分 ①水槽深さ設置場所による区分

- I型：公園、宅地等自動車が入るおそれのない場所の地下に設けるもの
- II型：上記以外の場所の地下に設けるもので総重量200kNの自動車荷重が載荷されるもの
- III型：上記以外の場所の地下に設けるもので総重量250kNの自動車荷重が載荷されるもの

#### ⚠ 注意事項

- ①給排水又は給水の為の配管を貫通させる開口部を設ける場合は、頂版に設けるものとし、加工は、製造時に実施する。  
(1) 開口部の数は、1基あたり4個以内 (2) 1個の開口部面積は、500cm<sup>2</sup>以内  
(3) 1基あたりの開口部面積の合計は、750cm<sup>2</sup>以内 (4) 開口部の周囲は、必要な補強を行なう
- ②吸管投入孔の位置を変えたい場合は、弊社営業へお問い合わせください。

## ● 必要地耐力一覧表

種別		防火水槽							
型式		TC2524-40-I	TC2524-40-II <sup>※1</sup>	TC2524-40-II <sup>※2</sup>	TC2524-40-III				
必要地耐力	土被り	0.0m	64.3kN/m <sup>2</sup>	—	—				
		0.2m	—	74.0kN/m <sup>2</sup>	80.8kN/m <sup>2</sup>				
		0.5m	73.3kN/m <sup>2</sup>	79.4kN/m <sup>2</sup>	86.2kN/m <sup>2</sup>				
		1.0m	82.3kN/m <sup>2</sup>	88.4kN/m <sup>2</sup>	95.2kN/m <sup>2</sup>				
		1.5m	91.3kN/m <sup>2</sup>	97.4kN/m <sup>2</sup>	104.2kN/m <sup>2</sup>				
		1.9m	98.5kN/m <sup>2</sup>	104.6kN/m <sup>2</sup>	111.4kN/m <sup>2</sup>				
種別		耐震性貯水槽							
型式		TC2524-T40-I	TC2524-80-I	TC2524-T40-II	TC2524-80-II	TC2524-T40-III	TC2524-80-III		
必要地耐力	土被り	0.0m	64.3kN/m <sup>2</sup>	—	—	—	—		
		0.2m	—	—	80.8kN/m <sup>2</sup>	—	86.6kN/m <sup>2</sup>		
		0.5m	73.3kN/m <sup>2</sup>	—	86.2kN/m <sup>2</sup>	—	92.0kN/m <sup>2</sup>		
		1.0m	82.3kN/m <sup>2</sup>	—	95.2kN/m <sup>2</sup>	—	101.0kN/m <sup>2</sup>		
		1.5m	91.3kN/m <sup>2</sup>	—	104.2kN/m <sup>2</sup>	—	110.0kN/m <sup>2</sup>		
		1.9m	—	—	—	—	—		
		2.0m	100.3kN/m <sup>2</sup>	—	113.2kN/m <sup>2</sup>	—	119.0kN/m <sup>2</sup>		
						2.3m	—	—	124.4kN/m <sup>2</sup>
						2.5m	—	—	—
						2.6m	—	—	—

I: 空地用 II, III: 道路用  
※1...T-14  
※2...T-20

## ● 完成写真



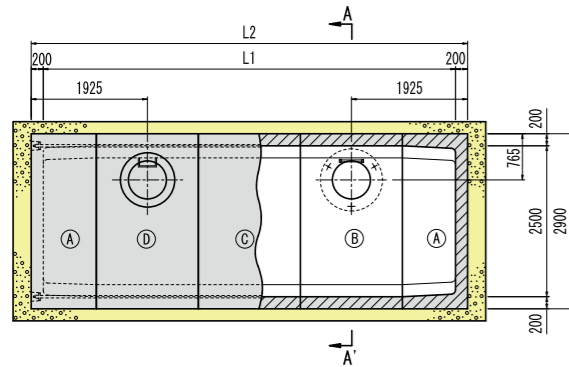
# サイズ 2500×2400

(内幅)×(内高)

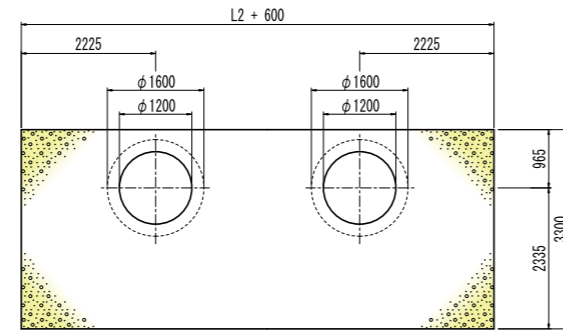
# 防火水槽 耐震性貯水槽

(財)日本消防設備安全センター認定品

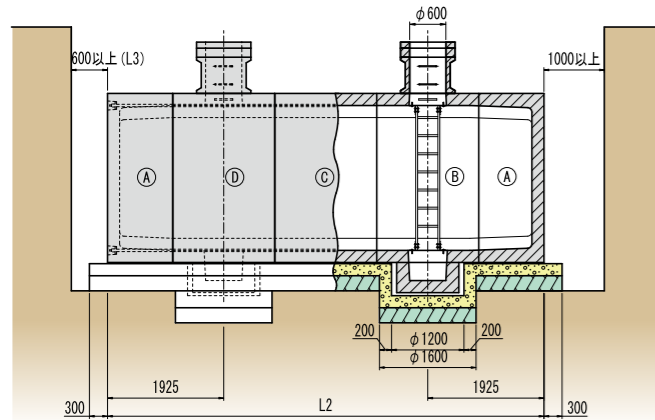
## ● 平面図



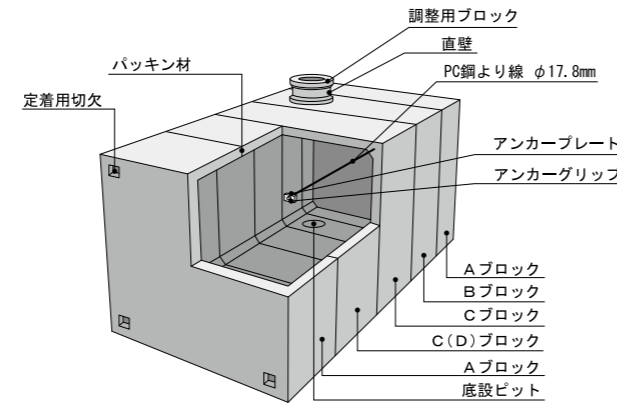
## ● 基礎平面図



## ● 正面図

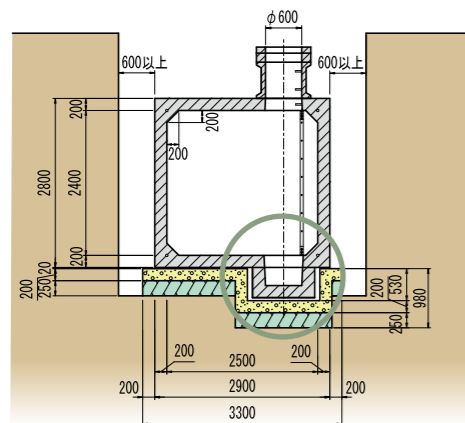


## ● 組立図

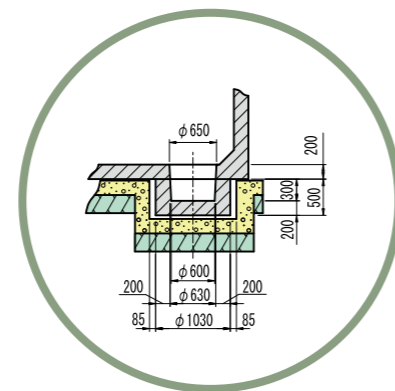


\*PC鋼材にて一体化構造物とします。

## ● A-A'断面図



## ● ピット部詳細図



## ● 組み合わせ表

種別	貯水量	内延長 (L1)	外延長 (L2)	組み合わせ	荷重条件	型式記号	許容土被り (m)	認定番号
防火水槽	40m <sup>3</sup>	6830	7230	A C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-14 T-20 T-25	TC2524-40-I TC2524-40-II TC2524-40-III	0.0~1.0 0.2~1.2 0.2~1.2 0.2~1.2	防-97234-1号 防-97235-1号 防-97235-1号 防-97235-1号
	40m <sup>3</sup>	6830	7230	A C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-14 T-20 T-25	TC2524-40-I TC2524-40-II TC2524-40-III	0.0~1.9 0.2~1.9 0.2~1.9 0.2~1.9	防-97234号 防-97235号 防-97235号 防-97235号
	40m <sup>3</sup>	6830	7230	A C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-T40-I TC2524-T40-II TC2524-T40-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-00063号 耐-00064号 耐-00064号
	60m <sup>3</sup>	10210	10610	A C C C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-60-I TC2524-60-II TC2524-60-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-97088号 耐-97089号 耐-97089号
耐震性貯水槽	70m <sup>3</sup>	11900	12300	A C C C E C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-70-I TC2524-70-II TC2524-70-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-97088号 耐-97089号 耐-97089号
	80m <sup>3</sup>	13590	13990	A C C C E C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-80-I TC2524-80-II TC2524-80-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-97088号 耐-97089号 耐-97089号
	90m <sup>3</sup>	15280	15680	A C C C E C C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-90-I TC2524-90-II TC2524-90-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-97088号 耐-97089号 耐-97089号
	100m <sup>3</sup>	16970	17370	A C C C E C C C C B A (D)	q=10kN/m <sup>2</sup> T-20 T-25	TC2524-100-I TC2524-100-II TC2524-100-III	0.0~2.0 0.2~2.6 0.2~2.3	耐-09142号 耐-09143号 耐-09143号

※I-空き地用 II、III-道路用  
※認定取得時では、上載荷重1.0tf/m<sup>2</sup>として取得。

## ● 形状寸法表

型式記号	内幅	内高	頂版厚	底版厚	側壁厚	ハンチ	奥壁厚	外幅	外高
TC2524-の全型式	2500	2400	200	200	200	200	200	2900	2800

単位:mm

## ● 重量と長さ (ブロック別)

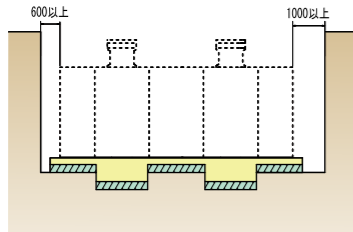
型式記号	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック*	底設(集水)ピット
	重量(t) 長さ(mm)	重量(t) 長さ(mm)	重量(t) 長さ(mm)	重量(t) 長さ(mm)	重量(t) 長さ(mm)	
TC2524-の全型式	9.37t 1.08m	8.99t 1.69m	9.30t 1.69m	8.99t 1.69m	9.15t 1.69m	0.82t

\*EブロックはTC2524-70、TC2524-80、TC2524-90、TC2524-100の時に使用。

- (1) Eブロックを使用する場合(70m<sup>3</sup>以上)はL3を1000以上としてください。
- (2) 吸管投入孔1つの場合はDブロックをCブロックとします。その他吸管投入孔2つ、底設(集水)ピット1つの組合せも可能です。

(1) 上記以外の組み合わせは認定品外となりますがご希望の貯水量に変えることができます。  
(2) ピットの位置は左右入れ換えできます。

## 1 掘削



貯水槽本体と掘削溝壁面との最小間隔は、縦方向の固定側と両側面は0.6m以上、緊張側は1.0m以上確保してください。

## 2 基礎工事



許容地耐力にご注意の上、組立図に示された直接基礎を施工してください。地耐力が得られない場合は基礎の補強を行なってください。

## 3 ピット・Aブロック設置



計画高さに合わせて敷モルタルを均等に敷きます。

## 4 Bブロック設置



ピットとBブロックはボルト連結します。

## 5 Cブロック設置



## 6 最終Aブロック設置



## 7 緊張工



## 8 グラウト工



## 9 目地工



ピット内作業につき換気に十分留意してください。施工現場に火気厳禁の標示を行ない、誘発火災の予防に万全を期してください。その他安全対策には十分留意してください。

## 10 吸管投入孔設置



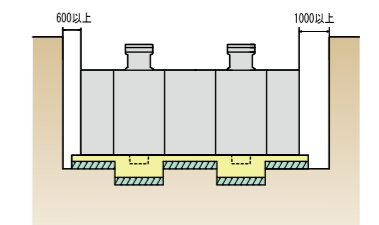
鉄蓋の設置は埋戻し後に行なってください。

## 11 本体外完了



内部の様子

## 12 埋戻し前の注意事項



埋戻しは目地工終了後、48時間以上経過してから行なってください。地下水（湧き水）のある場合は、水中ポンプ等で排水を行い、底設ピット以下に水位を下げるようにしてください。

### ■ 事前の協議について

防火水槽及び耐震性貯水槽の設置に際しては、所轄の消防署及び関係機関との協議が必要となります。その際の指示事項に十分ご注意いただき、ご注文ください。

### ■ 個別認定製品について

弊社製品は、一部を除き各基ごとに(財)日本消防設備安全センターの認定を取得した「個別認定製品」です。認定ステッカーを吸管投入孔(Bブロック)の内側に貼付しておりますので、ご確認ください。なお、設置完了報告の際には記録写真が必要となりますので、写真撮影をお願いします。

### ■ 水位の低下現象について

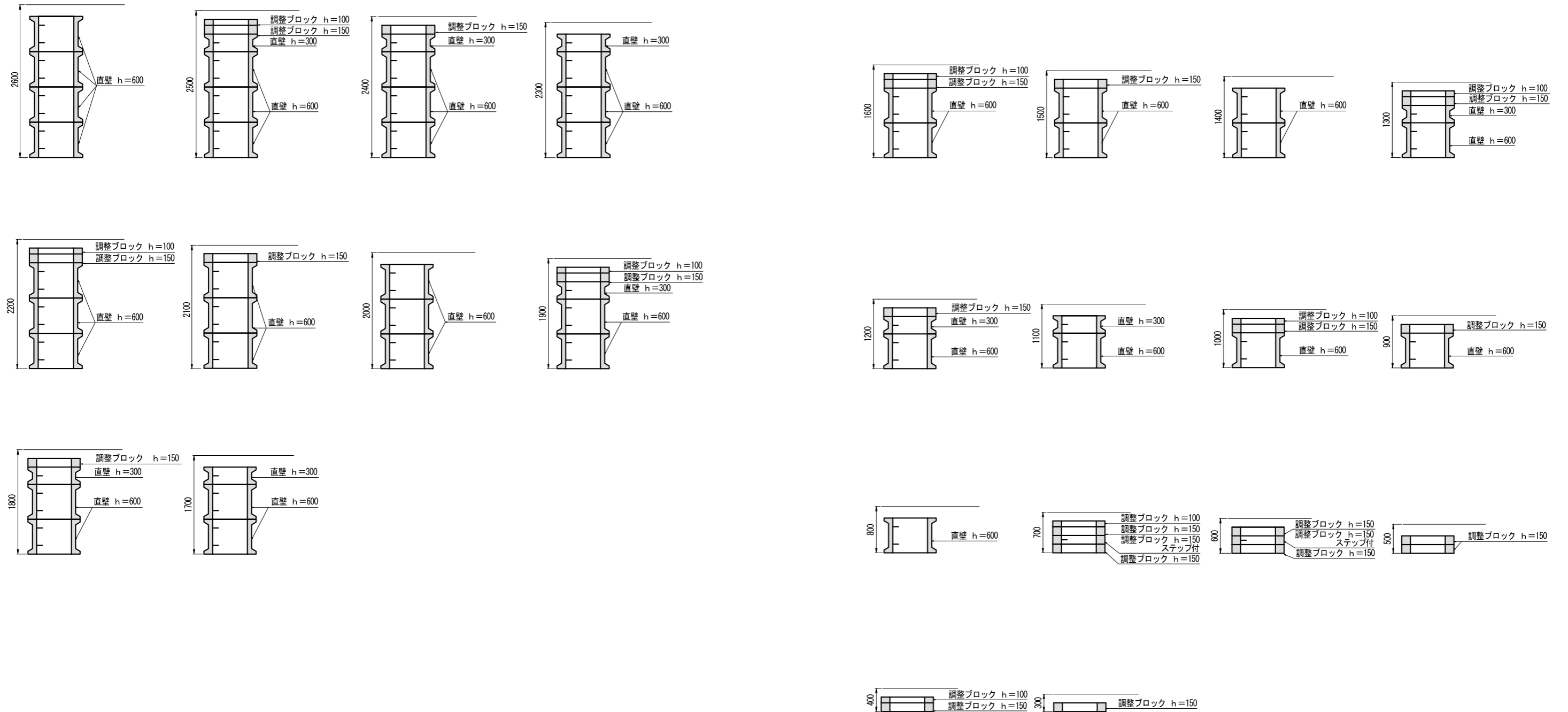
設置後初めて水槽に水を貯めると、コンクリート部材の吸水による水位低下が occurs。これは一時的なものであり所定量（本体吸管投入孔φ600部分の部材厚以内[約20cm]）を超えると水位低下しなくなります。ただし、所定量を超えても継続して水位が低下した場合は弊社までご連絡ください。

### ■ 製品の保証について

防火水槽・耐震性貯水槽は、弊社で定めた「品質基準」により、その品質を保証いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

# 吸管投入孔

## ● 吸管投入孔組立構造図





## ◎ 鶴見コンクリート株式会社

<http://www.tsuru-con.jp/>  
E-mail: [info8000@tsuru-con.jp](mailto:info8000@tsuru-con.jp)

本 社	〒230-0051	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-10-44	TEL: 045 (503) 8000(代)	FAX: 045 (511) 3020
東北営業所	〒029-3205	岩手県一関市花泉町涌津字石畳85-28	TEL: 0191 (82) 5180	FAX: 0191 (82) 5189
埼玉営業所	〒338-0001	埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2	TEL: 048 (859) 6835	FAX: 048 (859) 6827
東京営業所	〒110-0015	東京都台東区東上野3-8-7(矢口ビル3F)	TEL: 03 (5807) 5101	FAX: 03 (5807) 5102
神奈川営業所	〒230-0051	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-10-44	TEL: 045 (503) 8001	FAX: 045 (502) 5057
湘南出張所	〒253-0085	神奈川県茅ヶ崎市矢畑265-1(登象ビル2F)	TEL: 0467 (82) 5111	FAX: 0467 (86) 6451
静岡営業所	〒416-0923	静岡県富士市横割本町2-1(漆畑ビル2F)	TEL: 0545 (65) 6580	FAX: 0545 (65) 6583
伊勢原工場	〒259-1138	神奈川県伊勢原市神戸400	TEL: 0463 (95) 2607	FAX: 0463 (93) 7216